



1回(昭2年卒)~
23回(昭24年卒)
卒業生2,835名



1回(明43年卒)~
39回(昭24年卒)
卒業生3,327名



1回(昭23年卒)~
74回(令4年卒)
卒業生31,017名



双鶴同窓会報

発行〒624-0841

京都府舞鶴市字引土145
京都府立西舞鶴高等学校

双鶴同窓会

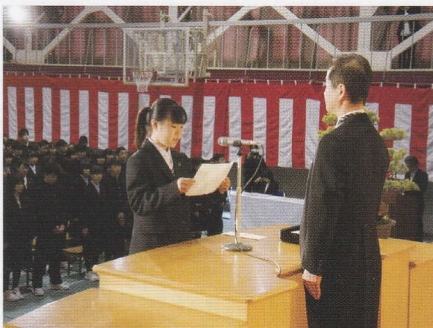
☎(0773) 75-3131

編集責任者 中西 毅

印刷 オガワ印刷

校訓
究理 尚志 敬人

高校生活の思い出
令和4年3月 卒業生



▲平成31年4月 全日制入学式



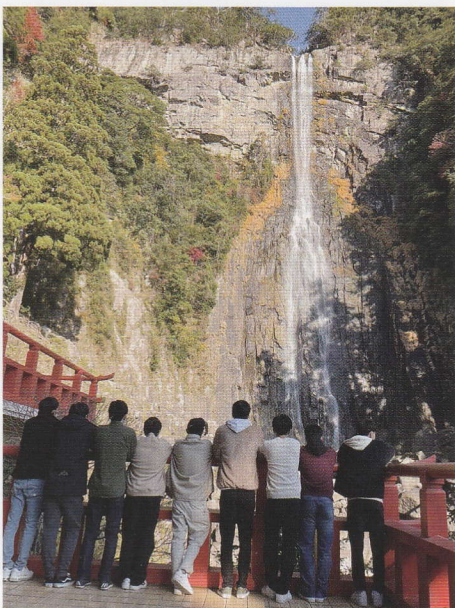
▲令和2年9月 全日制文化祭



▲令和3年12月 彩雲祭<文化祭>(通信制)



▲令和2年9月
全日制体育祭
令和2年12月
全日制研修旅行



▲令和3年10月 理科校外学習(通信制)



▲令和3年12月 提言コンテスト表彰式(全日制)

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。同窓会を代表して心よりお慶び申し上げます。

卒業生の皆さんには、卒業と同時に双鶴同窓会に入会していただくこととなりますが、この機会に、双鶴同窓会の歴史と伝統行事について少し紹介をしておきます。

本校の同窓会は、昭和二十三年の学制改革によって舞鶴高等女学校（舞女・明治四十年開校）、舞鶴中学校（舞中・大正十一年開校）と新たに開校した西舞鶴高等学校の全日制、定時制、通信制の同窓会が統合されて誕生しました。このとき、舞女・舞中の番（つがい）の鶴から生まれた若鶴が西舞鶴高等学校ということで、双鶴同窓会と命名されました。

結成以来七十三年、歴代の会長様をはじめ同窓の諸先輩方が築いてこられた輝かしい歴史と伝統を引き継ぎ、現在に至っています。

母校に本部を置き、会員相互の教養を高め、親睦を図り、母校の発展を支援する目的を持って活動すると会則で定められ、毎年六月には、地元在住の理事・評議員が集い、地元舞鶴で本部総会を開催しています。

また、東京・京都・阪神の三支部があり、それぞれ二年に一度、支部に在住する同窓生が集い、支部総会と懇親会が開催されています。

また、五年ごとに同窓会名簿を改訂発刊し、毎年六月には本部総会の開催に合わせて同窓会報を発刊しています。

さらに、同窓会ホームページを開設し、同窓生の様々な活動状況や様々な情報を発信しています。

この他、全日制では先輩方から長く引き継がれている「高卒業三十周年記念同窓会」が、例年新春一月二日に地元で開催されています。残念ながら、昨

年、今年とコロナウイルス感染症拡大の影響を受け延期されていますが、高校時代を共に過ごした同窓年の仲間が全国各地からふるさと舞鶴に集い、三十年ぶりに再会する記念同窓会が開催され、会場では出席者一同が高校生に戻って、時間の過ぎるのを忘れ、懐かしい高校時代の語り合い、卒業以来途絶えていた同窓年の絆が三十年の時を経て新たな絆とする伝統行事となっています。

通信制では二年に一度「通信制の会」が開催され、世代を超えた先輩後輩が集い、和やかな

雰囲気の中で恩師を囲み、少数で頑張った学校行事やレポート作成で苦労した思い出話など、笑いあり涙ありの同窓会が開催されています。



同窓会の歴史と伝統行事
双鶴同窓会会長 内藤 行雄
(昭和四十二年西高十八回卒)

先にご紹介しました本部総会をはじめ、東京、京都、阪神支部総会、通信制の会には、幅広い世代の方々が出席されます。会場の雰囲気慣れるまで多少堅苦しさを感ずりますが、そこは同じ学び舎で学んだ者だけが共有できる独特の空気感と心地よさがあり、同窓生の絆は世代を超えて一気に広がります。

こうした同窓会の伝統行事をとおして感じる、同窓年の仲間同士の絆、また、世代を超えた先輩後輩の堅い絆は、長い歴史と伝統によつ

て築かれた双鶴同窓会の何物にも代えがたい財産であります。

皆さんのところに、このような同窓会行事の案内が届きましたら、同窓生として是非参加してください。そして、この素晴らしい同窓生の絆を次代につなぐ担い手になってくださるようお願いしています。

結びに、卒業生の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉とします。

お祝いの言葉とします。



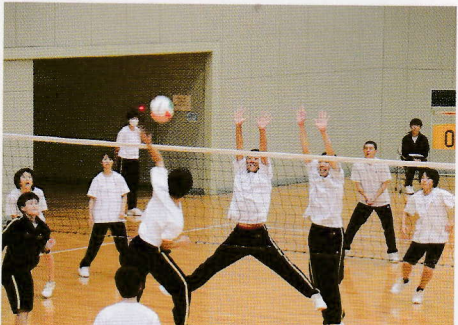
▲平成31年4月 全日制遠足 (校内レクリエーション)



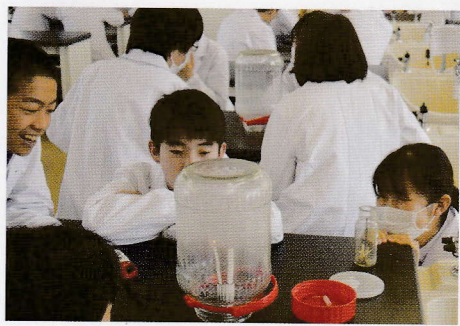
▲令和3年11月 調理実習 (通信制)



▲令和元年8月 全日制理数探究科サイエンスキャンプ



▲令和2年10月 全日制球技大会



▲平成31年4月 全日制理数探究科土曜講座



▲令和3年10月 体育祭 (通信制)



▲令和3年7月 全日制遠足（福井県永平寺）

卒業30周年には楽しい記念の集いを持ちましょう!

- ◆ 私たちがお世話します。
- ◆ 住所や名前が変わったときは連絡して下さい。

第74期生（R4年3月卒）評議員

1組	山口 彩 翔	石原 春 香
2組	西 森 真 喜	黒田 青 空
3組	阪 口 希沙輝	谷 口 楓 果
4組	茶 谷 紘 汰	武 本 美 羽
5組	高 橋 奏 大	森 永 春 稀
6組	山 本 翔 琉	中 野 彩 菜
通信制	齊 藤 沙 雪	高 岸 優 進

- 先輩の例によりますと、全日制では、卒業20周年・30周年を迎える頃より同期会が盛んになり記念の集いや記念誌の発刊が行われています。それまではクラス単位の集いが行われています。
- 通信制の会では、2年に1度同窓会が行われています。

双鶴同窓会各支部役員

【東京支部】

支部長 増 本 治 夫 (昭34高)
 事務局長 澤 田 謙 二 (昭48高)
 「事務局」〒216-0035 神奈川県川崎市宮前区馬絹4丁目18番14-201号 藤和宮崎台コープ(澤田)
 TEL 080-1025-3695 (携帯)
 メールアドレス jury-22@lagoon.ocn.ne.jp

【京都支部】

支部長 齋 藤 敏 明 (昭36高)
 事務局長 原 田 易 典 (昭48高)
 「事務局」〒520-0246 滋賀県大津市仰木の里3-15-6 (原田)
 TEL 090-7879-2441 (携帯)
 メールアドレス harada.kkvp@gmail.com

【阪神支部】

支部長 谷 村 久 兒 雄 (昭42高)
 事務局長 坂 根 章 二 (昭48高)
 「事務局」〒586-0021 大阪府河内長野市原町4-8-1-712 (坂根)
 TEL 0721-56-7124 (自)
 メールアドレス oyajicch-s@docomo.ne.jp

【通信制課程役員】

◎通信制の会 会長 岩 田 護 (平9通) 本部・理事

双鶴同窓会本部役員

会 長 内 藤 行 雄 (昭41高)
 副 会 長 南 部 正 治 (昭51高)
 志 摩 敏 樹 (昭56高)
 左 織 美 紀 恵 (昭56高)
 佐 古 田 政 彰 (昭58高)
 理 事 長 渡 辺 弘 (昭48高)
 庶 務 理 事 米 山 隆 一 朗 (昭51高) : ホームページ担当
 森 宏 昭 (昭56高) 林 博 之 (昭59高)
 中 西 毅 (昭49高) 奥 野 照 美 (昭55高)
 野 村 美 由 紀 (昭55高) 阪 昌 代 (昭61高)
 土 師 千 穂 (昭62高) 白 井 俊 博 (平19高)
 河 合 美 咲 (平28高)
 会 計 理 事 永 山 隆 司 (昭50高)
 監 査 上 山 利 彦 (昭41高)
 齋 藤 友 幸 (昭43高)
 顧 問 松 下 茂 男 校 長
 奥 本 有 紀 全 日 制 副 校 長
 金 井 克 彦 通 信 制 副 校 長
 奥 野 久 美 子 事 務 長
 参 与 南 房 夫 (昭32高) 第 8 代 会 長



▲令和3年6月 生徒総会（通信制）



▲令和2年12月 全日制理数探究科 北部サイエンスフェスタ



▲令和3年9月 総合的な探究の時間B（通信制）

部活動 特別後援会報

京都府立
西舞鶴高等学校
部活動特別後援会

母校を巣立って二十六年。大
学四年間と社会人一年目こそ、
故郷を離れて過ごしたものの
ずっと舞鶴の地で育んでいただ
きました。本誌に原稿を記す機
会を与えていただき、久しぶり

に卒業アルバムを開いてみるこ
とにしました。そこには、輝く
未来を信じていきいきと過ごす
同級生の様子が色あせることな
く閉じ込められていました。西

高体操、真壁峠を越えての持久
走大会、スキー合宿に、福井県
での夏季講習合宿。あの頃の思
い出が蘇り、懐かしい思いで胸
がいつぱいになりました。

私は、中学校でソフトテニス
と出会い、その楽しさ、魅力に
あつという間に引き込まれてし
まいました。そして、来る日も
来る日も恩師のもとで練習に明
け暮れました。毎日の練習やた
まに出かける遠征は、それは楽
しいものでした。みるみる上達
していく自分に自信があり、大

持ちを抱き、西舞鶴高校ソフト
テニス部の門をたたきました。
インターハイに行けると信じ込
んだまま・・・。
しかし、現実はその甘
いものではありませんでした。そ
れまでは、きれいな球筋で打ち
返していれば通用していたゲー
ム形式でも、相手との駆け引き
やペアとの作戦が機能しなけれ
ば全く歯が立たなかつたので
す。乱打は上手いが、試合では
勝てない。そんな日々が続いま
した。伸び悩んでいる自覚もあ
り、周りが上達していく様子に
焦りもあり、一球入魂といった
練習ではなく周りばかり気にし
ていたように思います。順調に
成績を残していく同級生やどん
どん追い越していく後輩たち。

ついに団体戦のメンバーからも
外れてしまうようなことにな
りました。強くなりたい気持ち
とは裏腹に、具体的な目標や練
習に対する目的意識も持てない
私にとって当然の結果だったと
今更ながらに後悔の念もありま
す。

たちの若さ溢れる澆漓とした文
章がそこにはありました。中で
も、第四十九号に寄せられた我
がソフトテニス部の後輩の原稿
が四十代半ばを迎えようとする
私に大きな衝撃を与えました。
決して恵まれているとは言えな
い練習環境の中で、現実を見
つめ、さらにはその逆境をバネ
にして全国大会出場を掴み取っ
たそのエピソードに、同時期の
自分を重ね、頭が下がると当時
に、今後への元気をいただいた
ように思います。「できないこ
と」「与えられていないこと」を
言い訳にするのではなく、その
現状において何ができるかを考
え、夢を実現させた二人の後輩
の姿から多くを学び、大いに刺
激を受けることとなりました。

結局、三年間大きな成績を残
すことなく引退を迎えた私です
が、唯一、誇れるとしたら、こ
の三年間で生涯の友と呼べる友
人を作ることができたことだと
思います。二年生からペアを組
んだその友人とは、気に食わな
いプレーがあるといつも言い争
いをしていました。初めは渋々
スタートしたペアではありまし
たが、お互いに言いたいことを
言い合い、ケンカと仲直りを繰
り返す中で友情を育んでいった

と思います。まさに、ソフトテ
ニスに繋いでくれた縁であり、
下手なりに部活動に夢中になっ
て取り組んできたご褒美だと
思っています。高校を卒業した
私は、大学でも四年間ソフトテ
ニスを続け、縁あつてまたその
友とペアを組むことになりました
。学生リーグでの昇格を目指
して奮闘したあの四年間もかけ
がえのない財産です。

現在、私は、ふるさと舞鶴で
小学校に勤務し、教壇に立つて
います。これまで担任してきた
子どもたちの多くも西舞鶴高校
にお世話になり、それぞれに夢
に向かつて励み、活躍してくれ
ていることを嬉しく思っていま
す。多くの諸先輩方、素晴らし
い後輩の皆さんの活躍によつて
繋がれてきた母校の輝かしい伝
統に僅かでも名前を刻むことが
できたことを誇りに思います。



会です。それなりの結果も残すこ
とができいてました。中学校卒業
前には事前練習会に声をかけて
いただき参加させていただきま
した。当時のソフトテニス部は
大所帯でしたので、顔馴染みの
先輩方も多くおられました。し
かし、練習が始まるとその和や
かな雰囲気も一変。その真剣な
様子や一球一球の迫力に圧倒さ
れ、中学校との違いを実感した
ことを記憶しています。そんな
私は、迷うことなく、憧れの気

このような私に、原稿のご依
頼をいただき、恥ずかしなが
ら数年分の本誌を拝読させてい
ただきました。諸先輩方の熱い
青春時代の思い出や教訓。後輩

今後も校長先生を初めとする諸
先生方のご指導により、我が母
校が輝かしい未来を切り拓いて
いけることを祈念しておりま
す。教育に携わる一人として、
微力ながらその一翼を担えるよ
う精進してまいりたいと思いま
す。



放課後の西高

校長 松下 茂男



部活動特別後援会会員の皆様には、日頃から西舞鶴高校部活動を御支援いただき誠にありがとうございます。さて、Withコロナに突入して二年が経とうとしています。変異を続けるウイルスに今なお翻弄されつつも、昨年度中止となった大会やイベントなどが感染対策をとって開催されるようになり、練習の成果を発揮する場が徐々に戻ってきました。

今年度の大会実績を振り返ると、水泳部が全国大会出場、陸上競技と卓球が近畿大会出場を果たしたのをはじめ、府大会で上位入賞する部活もありました。地道な努力と本番での頑張りに大きな拍手を送りたいと思います。

また、文化系部活動も大会参加に加え、地域に出での活動も再開されつつあります。ボランティア部が中心となって西舞鶴駅東口ロータリーの花壇再生に取り組み様子などは新聞にも取り上げられ、「若者のエネルギーが地域創生の一助となっている」とのうれしい声もいただいています。活躍した生徒たちが紹介される式典時の伝達表彰も、切磋琢磨する仲間たちにとって大きな刺激になっていることでしょう。

「勉強も部活も全部」を合言葉に九割を超える西高生たちが部活動に打ち込んでいます。放課後の西高を歩くと、校内どこにいても聞こえるトランペットやドラムの音色。それに重なるように響くボールの弾む音や勢いあるかけ声。打つ人、蹴る人、走る人、若々しいスピード感や力強さがひしひしと伝わってきます。また、創作活動に没頭する姿や仲間たちと一緒に作ったり研究したりする場面にも出会います。練習を終えた生徒たちがクラブボックス前に集い、部活や学年の壁を越えて語らい友情を育む光景を遠くから見ながら、豊かな人間性の基盤づくりの場として部活動は欠くことのできないものとの思いを強くしているところではあります。

大江選手像に刻まれた「努力と友情」の西高魂は今も変わらず、他者を尊重し協調する精神や公正さと規律を尊ぶ態度、挑戦し続けるたくましい克己心へと西高生を導いてくれています。そんな、西高の歴史と伝統が育んできた質の高い文武両道の校風が、在校生のみならず広く地域や同窓生とも共有され、多くの人々の勇気や希望につながっていることを誇らしく

思っております。西高の伝統を支える部活動をポストコロナも見据えて改善していくためにも、会員の皆様におかれ

コロナ禍の部活動

生徒指導部長 榎原 和彦



部活動特別後援会会員の皆さまにおかれましては、日頃から本校部活動に御理解と御支援をいただき、心より感謝申し上げます。

二〇二〇年夏に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックは、新型コロナウイルス感染症の影響で一年延期され、昨年(二二年)夏に開催されました。直前まで大会開催は国論を二分し数々の問題も指摘されましたが、多くの競技が無観客と徹底的な感染防止策がとられ開催に至りました。私達は、メディアを通しての素晴らしい式典、競技に挑む選手の姿や白熱した試合を観戦・応援しました。コロナ禍で閉塞感が漂う社会に明る

さと感動を与えてくれました。一方で開催にあたっては、多数のスタッフ・ボランティアの努力と苦勞があり膨大なエネルギーが費やされたことでしょう。裏方である彼らには、「感染の防止」「選手の活躍」「大会の成功」など強い願いが込められていたと想像し

ましては、なお一層の温かい御支援と御声援をお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

ます。

さて、高校においても一昨年は、全国総体をはじめ各種大会が中止や無期延期となりました。「Withコロナ」が叫ばれるなか、今年度は種目に沿った感染防止「ガイドライン」にしたがい大会が実施されてきています。

私は、剣道部の顧問であり高体連剣道専門部の役員を務めている関係から、昨年七月に鳥津アリーナ(京都府立体育館)で開催された近畿高校剣道大会の運営に携わりました。前年度の近畿大会は中止であったことから、今年は開催できるのだろうかという不安のなか、大会では「感染者を出さず」「選手の活躍の場」を与え京都での「近畿大会を成功」させる強い思いで、府内の教員と共に幾度も会議を重ね準備を進めました。無観客、試合方法の変更、試合時間の短縮など過去の大会とは全く異なった形態と徹底した感染防止対策で実施されました。二日

間の日程が無事に終わり、その後も感染者が出なかったことに関係者一同、安堵したことを思い出します。

部活動においては、各種大会・競技会・演奏会など勝敗や結果はもとより選手・部員の活躍(活動)の場が担保され、目標を目指して取り組む過程はとて重要で、この過程のなかで技術の向上だけでなく、達成感・充実感など得るもの学ぶことは多くあります。また、支えてくれた周囲への感謝の念も知ることにもなります。

コロナ禍において部活動は、停止や時間制限、対外試合禁止などの措置が執られてきました。生徒にとっては幾度も辛い期間があり、先行き不透明のなかで現実を直視し理解したうえで、今出来ることを自ら探り工夫を重ねながら活動に取り組んでいます。この原稿を記している最中も、感染者が急増し第六波突入と呼ばれています。はやくこの状況が収束・改善し、生徒たちが力いっぱい諸活動に取り組める時が来ることを願ってやみません。ただ私たち教員は、可能な限り生徒・選手に活躍(活動)の場を提供し、力を伸ばす支援をしなければと考えています。会員の皆様におかれましては、今後とも本校部活動に対して温かい御支援をお願いします。



六中観

通信制副校長
金井 克彦

部活動特別後援会の皆さまにおかれましては、日頃から本校通信制の教育活動に御理解と御支援をいただきありがとうございます。

今年度は、「陸上競技部」「バドミントン部」が近畿大会等に出場し、優秀な成果を収めるとともに、「京都府高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」において、代表生徒が久々に「優秀賞一席（第2位・京都市教育長賞）」を獲得する等、通信制生徒の活躍が光る一年となりました。さて、東洋学の大家である安岡正篤師に、「六中観」という言葉があります。これは、人の生き方を修練するための指針として師が作り上げたもので、師自身も日々の戒めとされていきました。

【令和3年度 通信制活動報告】

- ◆第56回全国高等学校定時制通信制体育大会 陸上競技大会（全国大会）
 - 開催日：8月21日（土）～24日（火）
 - 会場：駒沢オリンピック公園総合運動場
 - 出場 走幅跳び 矢野 寧士、高梨 刀麻
- ◆第57回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会バドミントン競技の部 両丹予選会
 - 開催日：9月5日（日）
 - 会場：東舞鶴高校浮島分校
 - 結果 女子団体「優勝」坪倉 菜穂、女子個人「第2位」坪倉 菜穂
- ◆第57回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会陸上競技の部 京都府予選会
 - 開催日：9月19日（日）
 - 会場：丹波自然運動公園陸上競技場
 - 結果：走幅跳び「優勝」矢野 寧士
- ◆第57回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会バドミントン競技の部 京都府予選会
 - 開催日：9月20日（月・祝）
 - 会場：東舞鶴高校浮島分校
 - 結果：女子団体「第2位」坪倉 菜穂
- ◆第57回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会陸上競技の部（近畿大会）
 - 開催日：10月31日（日）
 - 会場：紀三井寺公園陸上競技場（和歌山）
 - 結果：走幅跳び「第2位」矢野 寧士
- ◆第16回京都府高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
 - 開催日：9月9日（木）
 - 会場：京都府総合教育センター
 - 結果：優秀賞一席（第2位・京都市教育長賞）高梨 刀麻

部活動に限らず、生徒の皆さんにとつて学校生活全般の羅針盤になるものと考え、ここに御紹介させていただきます。

●「忙中閑かんあり」
どんなに忙しい中でも閑はつくれるし、またそういう余裕を持たなければならぬ。

●「苦中楽あり」
どんな苦しみの中にも楽は見つけられる。

●「死中活あり」
もう駄目だという状況の中にも必ず活路はある。

●「壺中天あり」
どんな境遇の中でも自分の独自の別天地を持つ。

●「意中人あり」
尊敬する人、相許す人を持つ。

●「腹中書あり」
頭の知識ではなく人間の土台をつくる書物を腹に持つ。

【参考：「致知」二〇二二年十二月号（致知出版社）】

テニス	水泳	柔道	剣道	ソフトボール	卓球	サッカー	バレーボール	バドミントン	陸上競技	バスケットボール	ソフトテニス	野球																						
三浦 良樹	堀江 嘉明	橋本 朋代	大塚 千穂	土師 隆一	吉田 永山	榎原 和彦	奥藤 巧也	中井 晋平	和田 直美	田口 晃貴	川端 茂大	仲井 千恵	三宅 隆典	橋本 雅	吉田 直矢	廣瀬 正人	永井 国浩	川上 顕広	中川 健太郎	村上 巨	東出 達也	田中 翔太	岩佐 幸葵	松田 浩典	戸井 明	澤井 恵莉子	柏野 大樹	兼田 真由美	小谷 理奈	高橋 昌輝	本田 隆貴	細見 健太	白井 俊博	新谷 俊行
探	自然科学	WES	演劇	茶道	放送	囲碁・将棋	写真	美術	ボランティア	書道	パソコン	料理	吹奏楽																					
全教員	東出 達也	野坂 尚也	中井 拓也	棟方 聡仁	本藤 顕広	川上 国浩	永井 正樹	小栗 美由起	平野 沙織	井上 千恵	仲井 千穂	土師 正樹	棟方 良	永井 正樹	小栗 美由起	田口 晃貴	嶽 佳奈	松尾 直美	高橋 昌輝	松田 浩典	小谷 理奈	岩佐 幸葵	川端 和彦	榎原 佳奈	渡邊 美咲	林 洋一	永山 隆司	堀江 嘉明	小谷 理奈	林 洋一	松浦 花音	三浦 良樹	河合 美咲	

令和三年度 部活動顧問紹介

運動部

文化部

令和三年度

部活動報告

水泳



学業と水泳の両立

一年 永江来聖

僕は水泳を小学校三年生の頃から本格的に始めました。そこからは毎日、学校から帰宅するとご飯を食べ練習に行くという生活を送っていました。しかし、中学三年生で進路選択の時期がやってきました。家族とは何度も話し合いましたが、近隣の公立高校である西舞鶴高校に進学することにしました。どこで頑張るかよりもどう頑張れるかだと思っただけです。

そして高校生となり、新たな生活がスタートしました。中学三年生のとき、コロナウイルスの影響や受験

勉強で思うように泳げず、プランクがあつたため昨年の十月まで自己ベストを更新することができませんでした。その当時競っていた選手たちは今一歩二歩先にいます。今はその選手たちに少しでも追いつけるように毎日頑張っています。

ただ、僕ももう高校生です。勉強と水泳の両立ができるよう西舞鶴高校に来たので、学業にも力を入れなければなりません。僕の通うクラブでは、テスト期間であっても練習を休んではいけません。その理由は、テストの日が決まっているからです。練習の時間を削って勉強するのではなく、練習以外の時間でどうやって勉強するのが大切かと思えます。なので、テストから時間を逆算して計画を立てることが重要になります。今年より高いレベルで水泳も勉強もしたいと思います。

高校での目標は再来年度にインターハイとジュニアオリンピックに出場することです。あと二年間、高い意識をもって水泳も勉強も両立させます。



仲間の支え

一年 山崎 渚

僕が水泳を始めたのは小学一年生の時です。小学生と中学生の時はあまり結果を出せませんでした。一緒に練習している仲間と、全国に行くという共通の目標を立てました。始めは遠い目標でしたがみんなが目標に向かって努力して切磋琢磨しながら練習を積み重ね、結果も少しずつ残せるようになっていきました。苦しいこともたくさんありましたが、頑張っている仲間の姿に励まされ、乗り越えることができました。そして今年、僕は初めて近畿大会に出場することができ、また一歩目標に近づけたことが嬉しかったです。インターハイに出場するために、近畿大会で標準記録を突破しなければいけません。そのタイムからはまだほど遠く、さらに努力が必要だと感じました。近畿大会には、全国で表彰台に登るような選手も出場しておりレベルの差を痛感しました。また、今年が最後の年だった先輩もインターハイにいけず、悔し涙を流していました。中学生の時から一緒に練習をしてきて、先輩の支えのおかげで僕もここまで頑張ることができました。だからその涙を見て、恩返しとしてインターハイに行きたいとさらに強く思うようになりました。

水泳は個人競技ですが、一緒に練習している仲間や、応援し支えてくださっている先生や家族の存在の大切さを僕はこれまで何度も感じてき

ました。どんなにきつい練習でも仲間がいるから頑張れるし、多くの支えがあつて今まで水泳を続けることができています。今はコロナの影響で大会はすべて無観客で応援もできません。ですが、だからこそその支えは力になり、自信に繋がります。だからその感謝を忘れず努力し、さらに多くの人に応援してもらえような選手になりたいです。

高みを目指して

二年 森兼晴陽



昨年の九月に行なわれた新人戦で、私は初めて近畿大会に出場することができました。すごく緊張しましたが、新人戦の時よりも速いタイムで泳ぐことができましたので嬉しかったです。

私は中学生の間、長くスランプに陥ってしまい、三年近くベストタイムが生まれませんでした。中学最後の大会でも、決勝には残ったものの、近畿大会へ出場するための条件である四位以内に入れず、悔しい思いをしました。高校生になるタイミングで、水泳を辞めようかと考えた時期もありました。しかし、そんな時に声を掛けてくれたのがスイミングの仲間でした。「辞めないでほしい。また一緒に頑張ろう。」と言ってくれた時、『この人達となら、また頑張れるかもしれないな

い。』と感じました。今思えば、あの時に覚悟が決まったのかもしれない。一年生の時は思うような成績が生まれませんでした。少しずつベストタイムが出せるようになりました。これも全て、仲間や家族のおかげです。しんどい練習を一緒に乗り越えてきた仲間。大会の度に早起きして会場まで送ってくれる両親。私を周りで支えてくれる人たちには感謝してもきれません。これからも、私を支えてくれる人達に恩返しができるように頑張っていきたいです。

全国大会に出場している先輩がいて、信頼できる仲間がいて、近くに練習ができる環境がある私はすごく恵まれていると思います。これから全てを無駄にしないように、今年ももっと良い成績が残せるように練習に励みます。記録だけでなく記憶にも残るような選手になるために、水泳を通して人として成長したいなと思っています。

周りの人に感謝

三年 山崎穂乃花

私は小学三年生の時に水泳を始めました。その時は、泳げるようになってほしい、友達と同じ習い事がしたいくらいの気持ちでしたが、いつの間にか水泳が夢になり、水泳が好きになっていました。

私は水泳を始めてから、スムーズに進級テストに合格することができました。そして選手コースに入ってから順調に記録が伸び、中学一年生で初めて全国大会に出場するこ

とができました。しかし、それからの水泳人生は自分が思い描いていたものとは大きく異なり、苦しいことが多かったです。全国大会に出場できる喜びと共に、常に全国大会に行かなければいけない、試合では負けてはいけない、そんなプレッシャーが自分には襲ってきました。中学三年生の時、スランプに陥り、全国大会に出場できなくなった時、また新たな苦しさを経験しました。その時は苦しくて仕方がなかったけど、それを乗り越えたことで大きく成長することができたと思います。そしてスランプを通してたくさんのごことを学ぶことができました。どんな時でも陰で支えてくれる家族がいること、ずっと応援してくれる先生、仲間がいること、これは私にとって本当に大きな支えになっていました。同時に、たくさんの方の支えがあるからこそ水泳ができていて、自分が成長できることに気付かされました。高校に入學して再び全国大会に出場してからもコロナ禍で試合がなくなり苦しいことも多くありました。そんな状況でも頑張ることができたのは仲間がいたからでした。残念ながらラストレースはコロナの影響で一緒に練習をしてきた仲間と出場することも、会場で家族に見ても一杯やりきったことに悔いはないです。

苦しいこともたくさんあったけど水泳をここまで続けてきてよかったと思います。たくさんの方に支えてもらったことに感謝して恩返しをしていきたいです。

この変化のなかで、特に同級生の松田さんとは話し込む事が多くなっ

た。プレーやチームのこと、練習計画から相手チームの分析まで、とても多くの時間、卓球のことを話した。両丹予選、府予選ともに簡単な試合はなかったが、ある試合でチーム全員が同じ方向を向いていることを強く感じる試合があった。苦しい展開になったとき、一番大切なのはチームとしてのまとまりなのだとの時改めて感じた。

近畿大会を目指し取り組むなかで、同じ目標を持ち、同じ方向を向いて一緒に戦う仲間がいてくれることの大切さを感じた。難しい試合のなかでも、今まで支えてくれたみんなに、勝って恩返しをしたいという思いが一番の力になった。そして、近畿大会を目指して真剣に部活に取り組んだあの時間は大変なことも多かったけど、それ以上に楽しかったし、一生忘れないかけがえない時間となった。こうやって思いつきり部活に打ち込めたのも部員、顧問の先生、家族の支えがあったからだ。本当にありがとうございました。

近畿大会”
この目標にこだわり続けた。私が一、二年の頃、ベンチから見た先輩や同級生が近畿大会でプレーする姿がかっこよく、そして何より近畿の雰囲気は特別だった。「自分もこの場所でプレーしたい」という憧れと、先輩方や同級生に見せてもらったあの風景を今度は後輩たちに味わってもらいたいと思った。

最後の近畿大会をかけた京都府予選まであと二ヶ月となった昨年四月、顧問の先生が休暇に入られた。私たちにとって大きな変化だった。そこからの二ヶ月間、近畿出場が決まるまでは緊張と不安との戦いだった。

今年、私は近畿大会に出場し、ベスト8に入ることを目標に頑張ってきました。私は、今年二回近畿大会に出場することができました。去年私は高校で初めて近畿に出場して、すごく緊張したし、思っていたように結果も残せませんでした。全然歯がたたなかったし、すごく悔しかったです。だからこそ今年でリベンジをしようと毎日たくさん練習して自分の跳んでいる姿など動画を見直したりして研究をしたりしました。

一回目の近畿はインターハイでした。去年出場したのはユースで学年別で戦うけれど、インターハイは全学年で戦うので三年生にすごく圧倒されました。とても不安だったけどとにかく思いつきりやるうと思って跳びました。すると結構リラックス

同志
三年 坂本 奈々美



来年に向けて
二年 岸田 真弦



をしながら跳ぶことができました。しかし、記録は良かったけどベスト8には入ることが出来なかったの悔しさが残りました。二回目の近畿は去年も出場したユースでした。開催県が京都ということもあって慣れている場所だったのであまり緊張はしませんでした。逆に「絶対にベスト8に入る。」という気持ちですごく大きくなりました。予選の2本目で自己ベストを更新することができ、ベスト8に入ることができました。また、決勝でもさらに自己ベストを更新することができました。今年の目標であったベスト8に入る事が出来たし、自己ベストも更新することができて今年一嬉しい瞬間でした。去年本当に悔しかったし、インターハイも良い結果だったので、やっと目標を達成することができてすごく嬉しかったです。高校で部活をする時間もどんどん少なくなってきたり来年にはもうすぐ引退して、進路実現に向けて頑張っていくかなといけなくなってきました。だから残り少ない時間悔いのないようにしていきたいです。また、来年の目標は全国に出ることなのでそれに向けて一生懸命頑張っていきたいです。

部活動で学んだこと

三年 佐古田 遊

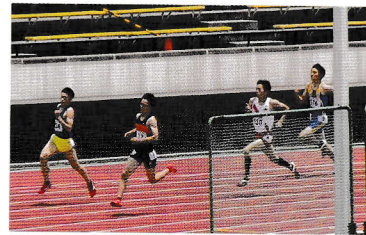
僕は、部活動を通して、多くの学んだことや気づきがありました。

一つ目は、向上心を持つことの大切さです。僕は、怪我が多く練習で走れない期間が長く、部活動に行きたくないと思うこともありましたが、そんな中、部活動を続けることができたのは、少しでも速く走れるようになったことで勝ちたいという向上心を持っていただけだと思っています。また、試合では、自分より速い人のレースの仕方を見て、試行錯誤した結果、自分の走りがどんどんよくなっていったので向上心をもつことは何かを成し遂げるために大切なことだと思いました。

二つ目は、目標をたてることの大切さです。僕は、一年生の時に、「京都で三位以内に入って近畿大会に出場する」という目標をたてていました。この目標を思い出したときに、達成できるように頑張ろうと、高いモチベーションで練習に取り組むことができました。

三つ目は、仲間の大切さです。仲間がいなかったら楽しく部活動をすることはできなかつたと思うし、選手として成長することはできなかつたと思います。互いに高めあうことができたからこそ最後の大会で自分の満足のいく走りができました。また、学校生活でも、コミュニケーションをとったり、互いにサポートしたりしてより濃密な高校生活をすごすことができました。

僕は、部活動でこの三つ以外にも、最後までやりとげることのおもしろさなどいろいろなことを学びました。これらの学んだことや気づいたことを無駄にするのではなく、常に頭の片隅において、今後の生活に生かしていきたいです。



演劇

演劇部で学んだもの

一年 小笹 彩音

入部して約一ヶ月で初めて台本を渡された時の喜びと緊張で包まれた空気は今でも思い出せる。役者三人中、基礎もなっていない一年生が二人いる状態で始まった練習。当時、掲げていた府大会出場という目標に対して弱気になっていたのは私だけではなかつただろう。思うように練習できずに終わった夏休みの分を取り戻して、府下大会へ出場しようという決意したミーティング後は、毎日学校でも家でも、本当に大会は開催されるのかという不安を抱きながら練習した。結局、新型コロナウイルスの影響でビデオ審査となったが、見事、両丹大会で最優秀賞を取り府大会への出場権を捕み取ることができ、達成感とやる気に満ちていた。

府大会まで残り三週間ほどでさらに芝居に磨きをかけたかったが、役者を一人変更することを余儀なくされた。一度も演劇をしたことがない先輩がやることになった。役者の変更、三人中二人は初めての舞台、全員が初めて行く会場。毎日不安に押しつぶされながら練習していた。しかし、新たに一人先輩が音響を担当してくださることになった。こうして部員が四人となった演劇部は意見を言い合い支え合い、勢いのまま本番を迎えた。当日は緊張はしていたが同時にワクワクしていた。本番直前、言葉にできない感情を表すように抱きしめ合った。本番中のことはあまり覚えていない。ただ、最後に幕が下りたときの達成感と充実感は一生忘れないだろう。

新型コロナウイルスの影響で私たちは目標を目指すことすらできなくなっている。その中でも次から次に新しい目標を見つけ、仲間と目指すことができる点が部活動の良さだと大会を通じて学んだ。これに気付けたのもコロナ禍でも私たちのやりたいうことをさせてくれる先生や家族のおかげであり、今だからこそ学べることを大事にしていきたい。



部活動実績

体育系

陸上競技部

- 第74回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会
佐古田 遊 (3年) 男子400m 出場
岸田 真弦 (2年) 女子走幅跳 出場

- 第54回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会
岸田 真弦 (2年) 女子走幅跳 5位入賞

水泳部

- 第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ
夏季水泳競技大会
山崎穂乃花 (3年) 200m平泳ぎ出場
- 第75回近畿高等学校選手権水泳競技大会
山崎穂乃花 (3年) 200m平泳ぎ、100m平泳ぎ出場
山崎 渚 (1年) 200mバタフライ、
100mバタフライ出場

■第5回近畿高等学校新人水泳競技大会

- 森兼 晴陽 (2年) 50m背泳ぎ出場
- 永江 来聖 (1年) 50mバタフライ出場
- 山崎 渚 (1年) 100mバタフライ出場

卓球部

■第75回近畿高等学校卓球選手権大会

- 学校対抗
女子出場

文化系

演劇部

- 京都府高等学校演劇大会両丹支部大会 最優秀賞
- 京都府高等学校演劇大会 優秀賞
- 京都府高等学校総合文化祭演劇部門 奨励賞